

農業文化園・戸田川緑地内 「とだがわ生態園」の池干しとカワバタモロコの放流



戸田川の最上流部に位置するカワバタモロコが生育する水路が平成27年12月に千音寺地区土地区画整理事業で消失しました。なごや生物多様性保全活動協議会（以下、協議会）ではその水路が消失する前の7月～10月にかけてカワバタモロコをできる限り捕獲して緊急に生息域外保全を行いました。しかしながら、生息域外保全を「なごや生物多様性センター内」で長年実施していくには限界があるため放流候補地を模索していました。平成28年に戸田川緑地管理センターから、農業文化園・戸田川緑地内の「とだがわ生態園」の池干しの打診を受け、地元保全体・福春小学校・戸田川緑地管理センター・なごや生物多様性センター・協議会から構成される池干し実施連絡会議を開催して生息域外保全をしているカワバタモロコの放流も目的の一つに池干しを行うこととなりました（池干しの目的はこれ以外に（ア）多くの地域住民が生きものと触れ合うことにより、自然や生きものへの関心を深める機会とすること（イ）池の中に生息・生育する生きものを調査し、外来種を取り除くことにより、生態系の保全・再生を図ること（ウ）地域住民が主体的に取り組むことにより、「地域の財産」として池を大切に守り育てる意識の醸成を図ること、があります）。「とだがわ生態園」には特定外来生物に指定されているブルーギル、カタヤシ、ウナギエルが生息しているほか、世界の侵略的外来種ワースト100に選定されるコイ（飼育品種）や日本の侵略的外来種ワースト100に選定されるアメリカザリガニが生息していることが事前調査から分かり、これらの外来種を取り除かない限りカワバタモロコを放流しても、カワバタモロコを保全することは難しいであろうことが分かっていました。そこで、池干しを平成30年11月25日（日曜日）に実施しました。

池干しでは、19科29種（希少種4種/14%、外来種12種/42%）の生きものが確認され、総重量で約430kgの生きものが捕獲されました。最も生物量が多かったのはギン



調査で見つかった生きものの展示

ブナの186kg（43%）、次いでコイ（飼育品種）の181kg（42%）の順であり、この2種で全体の85%を占めていました。希少種では名古屋市で準絶滅危惧種に評定されるミズカマキリが8匹も確認されたのには驚きました。ミズカマキリは名古屋市内の正式な記録も非常に少なく記録としても重要です。外来種では、全長102cmもあるソウギョやキンギョも捕獲されました。捕獲した生きもののうち在来種は戸田川へ放流し、外来種はすべて取り除きました。池干し後は数ヶ月間干した後、平成31年3月頃にカワバタモロコの放流を行う予定です。また、福春小学校において12月5日と10日に1年生～3年生と特別支援学級の生徒を対象（計194人）に今回の池干しについての授業を行わせていただきました。今後、協議会では日本魚類学会の放流ガイドラインに基づきモニタリング調査と結果の公表の他、カワバタモロコの保全の普及啓発を行っていく予定です。

絶滅が心配されるカワバタモロコ

カワバタモロコは、環境省と愛知県の絶滅危惧IB類に評定されるコイ科の魚類で、都市化にともなう河川改修や圃場整備による生息環境の劣化や消失による生息適地の減少、オオクチバスやブルーギルなどの侵略的外来種による捕食により近い将来絶滅が心配される淡水魚です。名古屋市では絶滅危惧IA類に評定され、愛知県の豊田市や西尾市では市の天然記念物に、三重県では三重県指定野生動植物種に指定され条例により捕獲が禁止されています。



（なごや生物多様性保全活動協議会：寺本匡寛）

名古屋市立緑高等学校 理科部

緑区旭出1-1104



緑高等学校・理科部に所属する生徒は、現在13名。その活動は「メダカの遺伝の法則と体色の関係、植物図鑑、ダンゴムシの交替性転向反応の実験」の3グループに分かれて実施し、それぞれが各テーマについて日々研究や実験に励んでいます。

そのうちメダカの研究では、実際にメダカを育成しながら、交配させ、そこから遺伝と体色の関係について追究しています。特に冬は水温を維持したり、産卵できる環境を整えるなど育成の難しさを感じているそうです。

植物図鑑は、緑高校の植生を調べてオリジナルの図鑑を作成しています。現在、樹木は13種類、草花は30種類が確認できたとのこと。各植物の同定を進めつつ、豆知識なども取り入れた楽しい図鑑を目指しています。

ダンゴムシの実験では、ブロックの道を何回も歩かせたり、複数匹を同時にスタートさせたりと、地道な作業を続けてきました。さらに、より正確なデータ収集に向け、効率の良い実験方法を模索中です。

こうした活動成果は、なごや生物多様性センターまつ

りや、市立高校主催の自然科学部交流会などで発表しています。また去年は、なごや生物多様性保全活動協議会主催の小中学生対象のサマースクールにボランティアで参加したり、大高緑地で開催の緑化フェアにも特別展示をしたり、野外活動へも繰り出しました。

今後は、各テーマの課題に向けた取り組みと、その研究が完結できるよう、さらに活動に力を入れていこうです。



シロメダカ

ヒメダカ

掲示板

機関誌「なごやの生物多様性」第6巻を発行しました！

なごや生物多様性センターでは、地域で実践されている調査・保全活動等によって得られた、なごやの生物多様性に関する情報を、正確に記録し広く発信するため機関誌を発行しています。

第6巻では、希少種の観察や外来種の侵入に関する記載、遺伝的多様性から見た地域個体群の特性など、原著論文をはじめ22報が掲載されています。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。機関誌は名古屋市公式ウェブサイトや名古屋市立図書館でご覧になれます。

第7巻 投稿募集

2019年度に発行予定の第7巻の投稿を募集します。どなたでも投稿できます。市民、保全団体、専門家、行政に所属している方など、広く投稿を募集しています。また、内容や投稿区分についても、学術的知見を記した原著論文、調査保全活動で得られた結果等を記した記録、報告および生物目録など、幅広い内容の文章を募ります。投稿規定をお読みいただき、ぜひご投稿ください。

投稿期限：2019年8月31日

「市民生きもの調査員」に登録しませんか？

生物調査や講習会、イベントなどの実施情報を直接メールでお届けします。どなたでも登録できます。詳しくは協議会ウェブサイトで！

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
（地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分）

電話 052-831-8104（平日 8:45～17:30） FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市公式ウェブサイト
http://www.city.nagoya.jp/

なごや生物多様性センター 検索

なごや生物多様性保全活動協議会
http://www.bdnagoya.jp

こちらから
アクセスできます



生きものシンフォニーのバックナンバーは、名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

いのちがやくなごや

平成31年3月 27号

特集

名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物

名古屋市版レッドリスト・ レッドデータブックなごや

ご存じですか？

絶滅のおそれのある生きものたちが、
名古屋市にもいるのです。



CONTENTS

特集 名古屋市版レッドリスト・レッドデータブックなごや P1～2

TOPICS 名古屋市内から絶滅した可能性が高かったイシガイを30年ぶりに発見!! P3
平成30年度 主な行事等の実績 P4
農業文化園・戸田川緑地内「戸田川生態園」で池干しを実施しました P5

活動紹介 名古屋市立緑高等学校 P6

掲示板 機関誌「なごやの生物多様性」第6巻を発行しました! P6

レッドリストとは??

絶滅のおそれのある野生生物のリストです。絶滅の危険性の程度に応じてカテゴリー（ランク）ごとに種名を掲載しています。

レッドデータブックとは??

レッドリストに掲載された種ごとに生息・生育状況や特徴などを解説してまとめたものです。レッドデータブックは名古屋市以外にも、国（環境省）や他の都道府県・市町村などでも作られています。日本全体で作られた国のレッドデータブックには掲載されていない生きものでも、名古屋市だけで見ると危機的な状況にある場合もあります。

名古屋市版レッドリスト・レッドデータブックなごや作成の歩み

時 期	内 容
2002年11月	「名古屋市版レッドリスト」の公表
2004年 3 月	「レッドデータブックなごや2004 動物編・植物編」の公表
2010年 3 月	改訂版「名古屋市版レッドリスト2010」の公表
2010年10月	「レッドデータブックなごや2010 2004年版補遺」の公表
2015年 3 月	改訂版「名古屋市版レッドリスト2015」の公表
2015年 4 月	「レッドデータブックなごや2015 動物編・植物編」の公表
2020年 3 月（予定）	「名古屋市版レッドリスト2020（仮）」の公表

改定に向けた調査を実施中！

「名古屋市版レッドリスト」掲載種数の推移

カテゴリー（ランク）		説 明		植 物		動 物	
				2010	2015	2010	2015
絶 滅（EX）		名古屋市ではすでに絶滅したと考えられる種		75種	76種	21種	25種
絶滅のおそれのある種（絶滅危惧種）	絶滅危惧IA類（CR）	高 絶滅の 危険性		27種	49種	64種	75種
	絶滅危惧IB類（EN）			49種	58種	46種	57種
	絶滅危惧II類（VU）			91種	75種	68種	75種
準絶滅危惧（NT）		低		40種	53種	96種	124種
情報不足（DD）		評価するための情報が不足している種		—	0種	24種	40種

2010年に公表された「名古屋市版レッドリスト2010」と比べると「名古屋市版レッドリスト2015」では絶滅のおそれのある種が44種も増えています。

レッドリストに掲載されている生きものを守ることに加えて、今まだ身近にいる生きものが、新たにレッドリストに載らないよう、残された自然を守っていくことが大切です。



ニホンイシガメ 絶滅危惧Ⅱ類



シデコブシ 絶滅危惧ⅠA類

より詳しく「レッドデータブックなごや2015」について知りたい方へ

- 名古屋市公式ウェブサイトで閲覧・ダウンロードすることができます。
- 市民情報センター、名古屋市立図書館、各区役所情報コーナー、環境学習センター（エコパルなごや）、なごや生物多様性センターでも閲覧することができます。

名古屋市内から絶滅した可能性が高かったイシガイを30年ぶりに発見!!

～ 特注の“秘密兵器”「手投げドレヅジ」が大活躍 ～

イシガイは「レッドデータブックなごや2015」において絶滅危惧IA類（ごく近い将来に野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）に指定されています。庄内川水系や守山区の溜池に少なからず生き残っている可能性があると考えられ、20年ほど前から調査を継続していますが、死殻すら確認できない状態が続いてきました。市内各地で実施された池干し調査でも発見されず、なごや生きものの一斉調査2017淡水貝編でもやはり見つかりませんでした。個人的にレッドデータブック執筆のためのイシガイ調査も繰り返し実施しましたが、やはり死殻すら発見できません。2020年のレッドリスト改訂の際には、イシガイを「絶滅」指定する検討もはじめました。このように市内におけるイシガイの生息が絶望的な状況で、レッドデータブックのシダ植物を担当されている村松正雄先生から、守山区の滝ノ水池でイシガイの新鮮な死殻を発見したという情報をいただきました。生き残っている可能性が高まったため、2019年2月20日に村松先生の案内のもと、愛知みずほ大学学生の横井敦史さんに協力していただき、ウェダースーツを着用して池に腰まで浸かってジョレンで採集を試みましたが全く見つかりませんでした。当日は水位が高くイシガイの発見は困難かとあきらめかけましたが、最後の手段として持参した“秘密兵器”の「手投げドレヅジ」を使ってみました。腰まで水に浸かり、池の深いところへ出来るだけ遠くにドレヅジを投げ込み、何度か池の底をさらって砂礫をふるいにかけました。しばらくして横井さんから「いました～!」と大声があがり確認したところイシガイの生貝でした。繰り返しドレヅジを投入して調査をしたところ、合計3個体のイシガイの生貝が見つかりました。



滝ノ水池のイシガイ（2019年2月20日採集）

市内のイシガイは守山区小幡緑地公園（緑ヶ池）での1991年の記録を最後に、その後は採集記録が全くありませんでした。しかもこの1991年の記録でさえ生貝は発見されず新鮮な死殻のみの報告論文でした。つまり約30年以上もイシガイは確認されていなかったことになります。絶滅指定まで検討しましたが、生き残っていることが確認できたのは、村松先生の貴重な情報と手投げドレヅジを考案されたZakko Clubの佐藤達也氏のおかげです。

滝ノ水池は自然環境がよく残っており希少な動植物が多く生息しています。ブラックバスやコイなどの外来種や移入種の侵入が少ないようで、水質も極めて良いことからイシガイが絶滅しないで今日まで生き残ったと考えられます。（東海化石研究会：川瀬基弘）



手投げドレヅジ（Zakko Clubの佐藤達也氏と水産高校勤務の小村雄作氏による開発）



滝ノ水池（撮影：横井敦史氏）

平成30年度 主な行事等の実績

センター …なごや生物多様性センター主催

協議会 …なごや生物多様性保全活動協議会主催

【 】内は開催場所。場所の記載のない行事はなごや生物多様性センター。

日 付	名 称【開催場所】 主催
平成30年	
4 月21日	東山動植物園 春まつりに出展 【東山動植物園】
5 月13日	なごや生きもの報告会&講演会 【名城大学ナゴヤドーム前キャンパス】 協議会
5 月19日	オオキンケイギク抜き取り会 【山崎川】 協議会
5 月27日	希少種シンポジウム2018「なごやの生きものの今」 【名城大学天白キャンパス】 センター
7 月21日～ 8 月11日	なごや生物多様性サマースクール2018（15講座） 【各所】 協議会
7 月29日	第35回生物多様性カフェ「伊勢・三河湾の漁業～多様な漁場・漁法・産物～」 センター
8 月31日～ 9 月 2 日	なごや生きもの一斉調査～アリ編～ 【37箇所】 協議会
9 月15日	環境デーなごや2018中央行事に出展 【久屋大通公園】
9 月23日	動物フェスティバルにてパネル展示 【久屋大通公園】
9 月29日	第36回生物多様性カフェ「モグラの話」 【エコパルなごや】 センター
10月 7 日	池干し 【中村公園 ひょうたん池・太閤池】
27日	第5回なごや生物多様性センターまつり・生物多様性ユースひろば センター
28日	天白区区民まつりに出展 【天白公園】
11月25日	池干し 【農業文化園・戸田川緑地 とだがわ生態園】
12月 8 日	第37回生物多様性カフェ「湧水湿地と植物」 センター
15日	池干し 【道徳公園 黎明池】
平成31年	
2 月16日	第38回生物多様性カフェ「藤前干潟の生きもの今昔」 【みなとアクルス】 センター
3 月24日	希少種シンポジウム2019 【名古屋市高齢者就業支援センター】 センター
3 月	機関誌「なごやの生物多様性」第6巻発行 センター
通年	市政出前トーク・なごやエコスクール等出前講座・見学対応等 【各所】 センター
通年	アライグマ防除 【各所】 センター
通年	市民協働による調査保全活動 【各所】 協議会
通年	定例会（学びあう会）偶数月第一水曜日（全6回） 協議会



● 生物多様性カフェの実施にあたり、次の皆様のご協力をいただいています。

【協賛】株式会社坂角総本舗、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社（五十音順）

なごや生物多様性保全活動協議会

なごや生きもの報告会

なごや生物多様性保全活動協議会の平成30年度活動報告会を開催します。
最新のなごやの生きもの情報をお伝えしますので、ぜひお越しください！

日時 平成31年5月12日（日） 午後1時から4時30分
会場 名城大学（ナゴヤドーム前キャンパス）南館 3階 DS304講義室
定員 150名（申し込み不要・当日先着順）

だなんも
「生物多様性キャラクター応援団」

